



座って学ぶ



体験



多人数



少人数



子ども



おとな

音楽を通じた気候変動適応

実施内容

楽曲演奏や、進行中のクイズやお話を通じて、知らない人や興味を持っていない人にも理解しやすいよう気候変動の影響やそれに対する適応策の重要性を伝えます。

POINT

- ・環境をキーワードにしたコンサートで、「気候変動への適応」を多くの人に知ってもらいます。
- ・演奏前後のMCで、環境についてのメッセージを発信します。
- ・音楽は子供から大人まで幅広く楽しんでもらえる手法。

留意点

- ・普段あまり環境問題に関心を持っていない人に伝える手法としては効果的。
- ・音楽は周知・啓発に向けた手法である反面、実際の行動に結びついたかどうかを測ることは難しい。
- ・気候変動への「適応」をはじめとする環境全般について、最新の情報である必要があるため日頃の情報収集や活動が大切。



平均所要時間

30分程度

定員

10名～100名
(イベントの規模による)

準備物

ギターなどの楽器、音響設備

実施団体

自治体、環境団体等



▲環境アイドルコンサート



▲自然エネルギーを活用したシンガーソングライターのコンサート

*ハンドブックP12,18もご覧ください

イベントによる適応啓発

地球温暖化の現状や適応について学ぶイベント (展示、映像、ゲームなど)

気軽に参加できるイベント形式で適応について楽しく学びます。

パネル展示

温暖化の影響についての啓発画像、環境マンガなど



地域のハザードマップ



体験コーナー

・もてるかな? エネルギーのかばん
地球温暖化と密接に関係するエネルギー消費量を重さに例えて体感し、エネルギーについて学ぼう!



・エコモならべ
「エコ」な「コロモ(衣)」の着方って?
衣類の調整で体感温度を調節することにより、冷暖房に頼りすぎず、冬の寒さ、夏の暑さをしのぐ工夫を学ぼう!



・暖冷(だんれい)たべものゲーム
暮らしの中で感じる気温の変化を、冷暖房を使って調整するだけではなく、体の中から調整することを学ぼう!



座って学ぶ



体験



多人数



少人数



子ども



おとな

DVD上映

「地球温暖化の目撃者 岩合光昭スペシャル ダイジェスト版」

写真家岩合光昭さんが、世界や日本の自然を取材し、生きものたちの変化を見つめた映像。

地球のあちこちで、自然に変化が起こっている様子がわかります。



展示

- ・災害への備え (例: 折りたたみ給水タンク、レトルト食品、ラップ、小銭、水の要らないシャンプーなど)
- ・災害時お役立ちグッズ (例: 懐中電灯を利用したランタン、缶詰を利用した灯かり、新聞紙を利用したスリッパなど)



平均所要時間

4時間
(時間内自由参加)

定員

300名程度

準備物

イベント開催一式
(会場、掲示、備品、出展やワークショップのスペースや必要品、運営スタッフなど)

実施団体

自治体

※全国地球温暖化防止活動推進センターの、教材・ツールを活用
*ハンドブックP22もご覧ください

地域における適応策の普及

実施内容

自然災害時の避難情報や緊急時への備えなど暮らしに密着したリスク低減の取組みを学び、産業・経済活動への「適応」について考えます。

POINT

- ・生活の中での適応の取組みについて整理するとともに適応について学びます。

留意点

- ・日頃の生活での実践につながるよう、おおさか気候変動「適応」ハンドブックを活用した座学等を組み合わせることで、適応全般の知識習得を図ることが有効。
- ・ナッジ(望ましい行動をとれるよう人を後押しする手法)の学問的な説明には知識が必要(デフォルト、エラーの予期、マッピング、フィードバック、複雑な選択肢の整理、キャラクターの活用など)。



平均所要時間

3時間程度

定員

20名程度

準備物

セミナー備品一式

実施団体

自治体



▲暮らしに密着したリスク低減の取組みの学習

*ハンドブックP18もご覧ください



座って学ぶ



体験



多人数



少人数



子ども



おとな



都市生活のリスクに備えよう1

実施内容

都市生活における温暖化の影響とその適応について、セミナーやクイズ形式のワークショップを通じて、特に災害による府民生活・都市生活に与える影響について学び、暮らしの中でできる対策について考えます。

POINT

ワークショップでは、クイズ形式により理解度が低い部分を把握した上でどうすればいいのか意見交換を行い、適応のための行動を考えるきっかけを提供します。

留意点

- ・講義に加えてクイズを取り入れることで、積極的に考える姿勢が生まれる。
- ・理解度が低い部分についても意見交換を行うことで、より理解が深まる。



平均所要時間	定員
2時間程度	40名程度
準備物	実施団体
セミナー備品一式	自治体



▲クイズで考える災害への備え

*ハンドブックP16,18,21もご覧ください

気象予報士にきいてみよう!

実施内容

- ・気象予報士から、短時間強雨(いわゆるゲリラ豪雨)や雷、雹など気候変動影響による極端な天気の様子を学びます。
- ・レーダーナウキャストなどスマホで天気を確認し、天気が急変する前に、安全な場所に避難することが大事です。

POINT

- ・上昇気流の様子、雹や雷がどのように発生するのか、イラストを使ってわかりやすく解説します。
- ・普段から天気に気を配り、危険が迫る前に避難することの重要性を学びます。

留意点

- ・温暖化の影響はたくさんあるが、ポイントを絞って説明すると理解が深まる。
- ・アプリの活用方法まで説明すると、日頃の生活における適応行動につながりやすい。



平均所要時間	定員
2時間程度	20名程度
準備物	実施団体
オンラインセミナー準備一式	自治体



▲オンラインセミナー資料

*ハンドブックP16,18,21もご覧ください



都市生活のリスクに備えよう2

都市生活での気候変動影響への「適応」について学ぶイベント (展示、紙芝居、ゲーム)

気軽に参加できるイベント形式で適応について楽しく学びます。

展示 災害に備えるパネルとグッズの展示



温暖化ヤバイDE・自然エネルギーを身近にクイズ

温暖化の緩和と適応を理解する



紙芝居とクイズで学ぼう! 温暖化「適応」



暑さについて考えるクイズ

暑さ対策を具体的に知る



平均所要時間	定員
4時間 (時間内自由参加)	300名程度
準備物	実施団体
イベント開催一式会場、掲示、備品、出展やワークショップのスペースや必要品、運営スタッフなど	自治体

*ハンドブックP16,18,20,21もご覧ください

バーチャルスーパーで気候変動を学ぼう

実施内容

身近な行動である買い物のゲームやクイズ(“適応”検定)を通して、気候変動影響について理解を深め、参加者が各々取り組める適応策とはなにかについて考えます。

POINT

ゲームやクイズを通じて、買い物の中で個人でできる適応策の学習や、適応に関する取組割合のチェックを行います。イベントでの体験により、楽しく学ぶことができます。

留意点

- ・イベントでの体験は、楽しく学ぶ機会となる。
- ・理解を深め、行動変容につなげるためには、展示等での説明や、資料の配布等の補強が望ましい。
- ・イベントの中で、理解度を確認しながら進行することが望ましい。



平均所要時間	定員
5時間 (時間内自由参加)	150名程度
準備物	実施団体
イベント出展 (必要に応じて資料など)	自治体



▲バーチャルスーパーに挑戦

*ハンドブックP18もご覧ください



暑さ対策について学ぶイベント

地球温暖化の現状や適応について学ぶイベント(ステージ、体験、クラフト、クイズ、ゲーム、展示など)

気軽に参加できるイベント形式で適応について楽しく学びます。

ステージ例

・ライブコンサート 歌と語りで発信される環境メッセージ



・住みます芸人の環境メッセージ



体験

・クールスポットはかって何°C?!
日かげやミストはどのくらい涼しいのかな?
色々な温度計で測ってみよう!



・ちょっと賢く、涼しくなろう。
タオルを水に浸してぐるぐる回すとひんやりすることなど
工夫をしてみよう



クラフト例

・つくろう!オリジナルうちわ 世界にひとつだけのうちわで電気要らずでどこでも快適!



・つくろう!ウエルカム風鈴 ー風鈴にお絵かきしようー



・涼しさをみつける!おもちゃづくり
風がでてくるおもちゃができた!



クイズ

・クイズにチャレンジ! クイズに答えて
めざせ!ヒートアイランドはかせ!



展示など

・知っておきたい、ヒートアイランド
・猛暑にそなえたい、熱中症の予防と対策
・夏のCOOLなすごしかた
・啓発パネル展示



平均所要時間

2~5時間
(時間内自由参加)

定員

300~1,000名程度

準備物

イベント開催一式
(会場、掲示、備品、出展やワークショップのスペースや必要品、運営スタッフなど)

実施団体

自治体

※全国地球温暖化防止活動推進センターの、教材・ツールを活用
*ハンドブックP17,18,20もご覧ください